

令和4年7月28日
第八管区海上保安本部
海上保安学校

第八管区海上保安本部・海上保安学校

定例記者懇談会

- 1 日時
令和4年7月28日（木）午後2時00分から
- 2 場所
舞鶴港湾合同庁舎2階 第1会議室
- 3 発表事項
＜第八管区海上保安本部 交通部＞
 - ・「夏季マリンレジャー事故速報」
 - ～遊泳中の事故多発！波や流れに注意を～
- 4 業務説明
＜第八管区海上保安本部 警備救難部＞
 - ・八管区の救難体制について
＜第八管区海上保安本部 船舶技術部＞
 - ・船舶用語の基礎知識
＜第八管区海上保安本部 海洋情報部＞
 - ・マルチビーム測深機の測深データの利活用

令和4年8月業務予定

日	曜	業務内容	備考
継続			
1	月		上旬
2	火		
3	水		
4	木		
5	金		
6	土		
7	日		
8	月		中旬
9	火		
10	水		
11	木		
12	金		
13	土		
14	日		
15	月		
16	火		
17	水		
18	木		
19	金		
20	土		
21	日		
22	月		
23	火		
24	水		
25	木	第八管区海上保安本部・海上保安学校定例記者懇談会	
26	金		
27	土		
28	日		
29	月		
30	火		
31	水		



【問合せ先】第八管区海上保安本部
交通部安全対策課長 牛崎 泰成
TEL 0773-76-4100 (内線 2640)

令和4年7月28日
第八管区海上保安本部

「夏季マリンレジャー事故速報」 ～遊泳中の事故多発！波や流れに注意を～

本格的なマリンレジャーシーズンの到来に伴い、マリンレジャー活動による事故が頻発しています。

海上保安庁ではシーズン中、海浜パトロールの強化のほか、各種メディアやSNSを通じて安全啓発活動を行い、これら事故の防止に努めてまいります。

1 令和4年7月の事故速報（7月25日現在）

マリンレジャー活動中の海難発生状況

- ・ 人身海難 23人(うち死亡・行方不明4人)
前年同月 9人(うち死亡・行方不明1人)
- ・ 船舶海難 5隻(うち死亡・行方不明0人)
前年同月 14隻(うち死亡・行方不明0人)

① マリンレジャーに伴う人身海難

- ・ 人身海難は前年同月と比べ14人増
- ・ 海難の内訳は帰還不能14人、負傷3人、溺水5人、海中転落1人
- ・ 活動の内訳は遊泳中19人、釣り中2人、ウエイクボード中2人

【事件事例】(事故概要は次ページ記載)

- ・ 島根県の海岸で釣り中の男性が雷に打たれ死亡した
- ・ 島根県の海水浴場で13歳少年が仰向けで流されているのを監視員が発見した
- ・ 京都府の海水浴場で親の目の前で浮輪に乗った4歳の男児が流された
- ・ 鳥取県の砂浜で男性が溺れ、それを助けに向かった男性も流され溺れて死亡した
- ・ 島根県の河口付近海岸で高校生3人が深みにはまり、パニック状態で沖に流された
- ・ 島根県の海水浴場で20代男女7名が深みにはまり、パニック状態で沖に流された
- ・ 京都府の海岸においてウエイクボード中の男性が他の船とぶつかり大けがを負った

② マリンレジャーに伴う船舶海難

- ・ 船舶海難は前年同月と比べ9隻減
- ・ 内訳は運航不能が2隻、乗揚げ1隻、衝突1隻、その他(空気漏れ)1隻

【事件事例】(事故概要は次ページ記載)

- ・ ゴムボートで釣り中に、突如、船体の継ぎ目から空気が抜け、沈みだした

2 事故発生状況から見る安全対策

- ・ 気象、海象の把握に努め、波等が高い場合は無理をしないようにしましょう
- ・ フロートや浮輪は流れ出すとあっという間です。波等が高い日や風の強い日は注意して使いましょう
- ・ 監視員、ライフセーバー等のいる管理された海水浴場で泳ぐようにしましょう
- ・ 砂浜であっても急に深くなる場所があることを覚えておきましょう
- ・ 水上オートバイでウエイクボードやトーイングチューブを曳く際は、後方に注意して、安全に曳くようにしましょう
- ・ ゴムボートの取り扱い（経年劣化、破れやすい）に注意しましょう

3 ウォーターセーフティガイドの活用

海上保安庁では、ウォーターアクティビティを誰もが安全に安心して楽しめるように事故防止のための情報（ウォーターセーフティガイド）を発信する総合情報サイトを開設しています。

ウォーターアクティビティを楽しむ際には、海に関する知識、利用する乗物の特性や装備、習得する技術などについて、十分に理解し準備したうえで海に出ることが大切です。

このウォーターセーフティガイドを活用頂き、安全にお楽しみください。



海水浴といった海辺でのレジャー活動を安全に楽しむための総合情報サイト
(アクティビティ別の必要となる知識等
など安全情報を提供しています。)



事故概要

●事故概要①（死亡：釣り中：雷）

発生日時 令和4年7月3日(日)
発生場所 島根県出雲市所在の大社港沖合の岩場
事故者 51歳男性（岡山県倉敷市在住）
概要

事故者は、島根県出雲市大社港沖合にある岩場において釣りをしていたところ、同日午後2時40分頃、天候悪化のため迎えに来た瀬渡船の船長が岩場付近の海上に心肺停止の状態で見つかる事故者を発見した。死因は落雷による全身雷撃傷と判断された。

当時、出雲市には雷注意報が発令。



沖合岩場の状況

●事故概要②（溺水：開設海水浴場）

発生日時 令和4年7月23日(土)
発生場所 島根県所在の国府海水浴場
事故者 13歳少年（島根県浜田市在住）
概要

事故者は家族4名で同海水浴場を訪れ、家族から離れて一人で泳いでいたところ、沖合30メートル付近まで仰向けで流されているのを監視員が発見し、駆け付けたライフセーバーにより救助された。

事故者は救助されるも意識不明の状態です。26日現在、入院中（事故時気象：北の風5m、波浪1m）



当時の海象状況

●事故事例③（帰還不能：開設海水浴場）

発生日時 令和4年7月17日(日)
発生場所 京丹後市所在の八丁浜海水浴場
事故者 4歳男児（京都府京都市在住）
概要

事故者は家族5人で同海水浴場を訪れ、浮き輪に乗った状態で父親と一緒に遊泳区域内にある突堤付近で遊んでいたところ、突風により沖へ流され帰還不能となった。

事故者は付近にいたサーファーにより救助され、怪我はなかった。

（事故時気象：西北西の風3m、波0.5m）



イメージ画像

●事故概要④（溺水：死亡：自然海岸）

発生日時 令和4年7月24日(日)
発生場所 鳥取県所在の弓ヶ浜海岸
事故者 40歳男性（奈良県奈良市）
67歳男性（40歳男性父親）
概要

事故者等は家族3名で同海岸を訪れていたもので、40歳男性が遊泳中に溺れ、流されるのを67歳父親がを見つけ、救助に向かったが共に波に流されたもの。

その後、消防により救助されるも67歳父親は死亡が確認された。なお、40歳男性は治療後帰宅した。（事故時気象：北東の風5m、波浪1m、うねり1.5m）

●事故事例⑤（帰還不能：自然海岸）

発生日時 令和4年7月24日（日）
発生場所 島根県益田市所在の高津川河口
事故者 地元高校生3名
概要

事故者等4名は遊泳目的で同川河口付近海岸を訪れ遊んでいたところ、うち3名が深みにはまりパニックとなり、次第に沖へ流されたもの。

1名は自力で帰浜し、2名は付近サーファーに救助された。

救助された2名は溺水吸引の所見があり、経過入院中であったところ、両名26日までに退院。（事故時気象：北東の風2m、波浪1m）



発生場所の状況

●事故事例⑥（帰還不能：開設海水浴場）

発生日時 令和4年7月23日（土）
発生場所 島根県浜田市所在の石見海浜公園海水浴場
事故者 20代男性4名、女性3名（広島市在住）
概要

事故者等は同海水浴場で遊泳していたところ、女性3名が深みにはまりパニックとなり、浮き輪に乗った状態で沖へ流されたことから男性4名が助けに向かい結果、7名が流されたもの。

その後、女性3名が付近SUPにより救助されたことから男性4名は自力で帰浜した。

7名に怪我等なし。

（事故時気象：北東の風2m、波浪1m）



発生場所

発生場所の状況

●事故事例⑦（負傷：ウエイクボード）

発生日時 令和4年7月18日（月）
発生場所 京都府京丹後市所在の久美浜湾内
事故者 32歳男性（兵庫県加古川市在住）
概要

事故者は、水上オートバイで曳航されるウエイクボードで遊んでいたところ、バランスを崩して転倒し、ロープを離れた際の反動で、付近停泊中の水上オートバイに衝突した。

病院にて診断の結果、左腰椎横突起骨折（全治1ヶ月）であった。



使用ウエイクボード

●事故事例⑧（空気漏れ：ミニボート）

発生日時 令和4年7月2日（土）
発生場所 福井県高浜町所在の音海海岸
事故者 51歳男性（京都府京都市在住）
概要

事故者はゴムボートに乗り午前5時30分頃から発生場所付近にて釣りをしていたが、午前11時30分頃、突如、船体の継ぎ目から空気が抜ける音が聞こえたため、急いで陸向け航行し岩場の上陸して救助を求めた。



（参考）ゴムボートに穴が空いている状況